

郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうとしりょうかん
巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷140
Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

文化財修復の様子～伊達実元霊屋保存修理工事(3)～

全4回の3回目です。今回は壁板工^{かべいた}事から紹^{しょうかい}介していきます。※工事は8月に完了しています。
※伊達実元^{だてさねもと}(1527-1587)…初代巨理領主成美^{しげさね}の父。霊屋^{たまや}は町指定文化財。



①

①壁板を外す作業が始まりました。霊屋の軸^{しよく}になる柱部分を修復するにあたって、工事が行いやすいように一度壁板が外されました。柱だけでは屋根を支えきれないので、支柱を立てます。骨組^{ほねぐ}みだけになった霊屋を見ることができた貴重な期間でした。



②

②柱軸組み工事が始まりました。文化財の工事では可能な限り当時の姿^{すがた}のまま保存することが基本となります。傷んでいる部分を詳しく確認^{かくにん}し、修復が必要な箇所を切り取って新しい部材で補^{おぎな}う工事を行います。



③

③柱部分の詳細な写真です。傷みが進んでいたこと(左)が良く分かると思います。古材補修作業では、取り除いた部材の形に合うように、新しい部材を加工し組合わせていく、「根継ぎ^{ねつぎ}」を行います。ぴったりと組み合わせることで、重さや風雨に堪^たえられる新しい一本の柱として生まれ変わります。

ちなみに柱に使われた木の種類は「ヒバ」です。



④

④柱の補修、組立てが終わったので、壁板^{かべ}を戻します。写真を見ると壁板上下部分の色が違^{ちが}うのに気付きましたか？実は、霊屋が建てられた時、壁板の向きが上下逆に入っていたことが今回の工事で分かったので、本来の向きに入れ直しました。

最終回は縁廻^{えんまわ}り工^{こう}事から紹介しますので、お楽しみに！

次号の「郷土しりょうかん」は、1月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



「スポーツの祭典！～ポスターでたどるオリンピックと聖火リレーinわたり～」を開催しました！



▲第2～4回大会ポスター



▲聖火リレートーチとユニフォーム

7月17日(土)から8月26日(木)まで、夏のテーマ展を企画展示室で開催し、589人の方にご覧いただきました。

第1～21回大会ポスターや巨理町内の聖火リレーに関連した資料のほか、巨理町出身のオリンピックや復興ありがとうホストタウンのイスラエルについて紹介する展示を行いました。

中でも今回の目玉である「聖火リレートーチ(残間祥夫氏所蔵)」を一目見ようと多くの方が来館されました。

また、期間中は展示をみて答えるクイズを用意して124人の方に参加いただきました。オリンピックに関連した記念品をプレゼントされた参加者は、満足気な表情で帰られていました。

宮城県に緊急事態宣言が出されて、当館も臨時休館となり、展示期間最終日を迎える前に終了となってしまいました。観覧を予定されていた方々、大変申し訳ございませんでした。



伊達成実霊屋御開帳



巨理伊達成実の菩提寺である大雄寺につくられた歴代領主の墓所、その中心となるのが初代領主伊達成実が眠る霊屋です。

成実が正保3年(1646)79歳で亡くなった後に霊屋が建てられ、中には軍扇を持つ甲冑姿の木造彩色甲冑像が納められました。

霊屋は、江戸時代初期を代表する霊屋建築として、宮城県指定文化財となっています。

8月16日(月)には霊屋を開帳して成実木像とともに一般公開し、199人の参拝者がありました。



当日は奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実様と、生涯学習課文化財班職員による現地解説会を行いました。2月から修復が行われていた伊達実元霊屋保存修理工事についても解説し、午前午後併せて73人の方が参加しました。

また、会場には2月の地震で倒壊した墓所復旧工事のための「わたりぜんしん！伊達家歴代墓所復旧支援金」の募金箱が設置され、39人の参拝者から合計20,451円の募金がありました。

※詳しくは町HP「町政情報>募金のご案内」をご覧ください。

次回御開帳

◎日 時：令和4年1月16日(日) 9:00～16:00

◎場 所：巨理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内) 巨理町字泉ヶ入87-2)



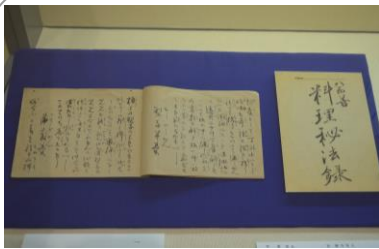
秋のテーマ展「被災資料が語る巨理荒浜～江戸家文書にみる明治・大正～」

11月21日(日)まで企画展示室において、秋のテーマ展を開催しています。荒浜江戸家の2万点を
超える資料群の中から、荒浜地区に関わる文書や記録、江戸家の商売や暮らしに関わる書類など、身近な暮らしに関わる資料を取りあげており、荒浜地区をはじめ巨理町の歴史を知る展示ですのでぜひご覧ください。今回は展示資料の中から2点紹介します。※観覧無料



巨理郡荒濱村字繪圖

境界、地目、地番を表示した地籍図の写しです。江戸家の所有地には「江」の朱印が押されています。「巨理郡荒濱村字名」資料から明治26年(1893)江戸家四代目清吉氏の求めにより、川口神社宮司の渡辺則隆氏が描いたものと分かります。上東新田、下東新田など今はなき地名も見るすることができます。



八百善 料理秘法録

柚子羊羹、梅羊羹、梨子羊羹、葡萄羹、柿羊羹の作り方が記されています。清吉氏が芸術文化に深い造詣があったことから、東京浅草の老舗料亭「八百善」のレシピ本の可能性があります。レシピを配付しているので実際に作って味を確かめてみてはいかがでしょうか。

郷土資料館町民講座「ものしり大学院」開講！

今年は秋のテーマ展と連動し、東日本大震災によって被災した資料の「文化財レスキューで救出された資料からわかったこと」をテーマとした講演会を開講します。今年は文化財レスキューや資料調査に関わっていただいた天野真志さんを講師にお招きします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策により、事前申し込み制としています。ご了承ください。

「被災資料から見つめる巨理の歴史」

- 講師：天野 真志 氏 (国立歴史民俗博物館 特任准教授)
- 日時：11月13日(土) 13:30～15:30 (開場12:45～)
- 会場：図書館視聴覚ホール(悠里館3階)
- 参加：要申込(11月5日まで、電話可)、定員60人(定員を超えた場合は抽選)、無料



文化の日はオープンミュージアム！

今年も11月3日(水)の文化の日は郷土資料館を特別開館し、各種イベントを行います。毎年好評のクイズをはじめ、普段は見たり、体験することができないものもあるので、ぜひお越しください。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容に一部変更が生じる場合がありますのでご了承ください。

体験コーナー

時間 9:00～16:00
場所 学習室(悠里館1階)
内容 紋切り(切り絵)をしたり、昔のおもちゃで遊ぶことができる体験コーナーがあります。この機会にいろいろな体験をしてみましよう。

郷土芸能演舞会

時間 10:30～11:00
場所 エントランスホール(悠里館1階)
内容 町無形民俗文化財に指定されている「巨理榊取り舞」の演舞会を行います。巨理の伝統的な民俗芸能をぜひご覧ください。

郷土資料館カレンダー・利用状況

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 秋の テーマ展 初日
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/ /31	25	26	27	28	29 資料 整理日	30

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 オープン ミュージ アム	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 ものしり 大学院
14	15	16	17	18	19	20
21 秋の テーマ展 最終日	22	23 勤労感謝 の日	24	25	26 資料 整理日	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24 資料 整理日	25
26	27	28	29	30	31	

◆  は休館日

12月28日～4年1月4日は年末年始休館

常設展

R3.7.1～9.30

- 開館日数…58日間
- 観覧者数…782人(1日平均14人)

夏のテーマ展 スポーツの祭典!

R3.7.17～8.26

- 開館日数…31日間
 - 観覧者数…589人(1日平均19人)
- ※臨時休館により会期短縮(当初9.5まで)

おわりに

新型コロナウイルス感染者は、東京オリンピック閉会后、8月26日の国内新規感染者26,050人という過去最多の感染ピーク時から急激に減少しましたね。これもワクチンの効果なのでしょう。このまま収束に向かって、コロナの話題から卒業したいですね。

秋になり、郷土資料館では展示、特別開館、町民講座などの催しを感染症リバウンド防止の対策を行い企画しています。来館者のみなさまに安心して楽しく過ごせるお時間を提供できればと思いますので、巨理町荒浜の郷土料理「はらこめし」を食べた後には、ぜひ郷土資料館にも足を運んでみてください。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00～16:30(入館は16:00まで) *観覧料…無料 ※特別展等有料の場合あり

